

平成 30 年度
ケアハウス 鶴翠苑
事業報告書

平成 30 年度 ケアハウス鶴翠苑 事業報告書

(1) 基本方針

高齢者の特性に配慮した住み良い生活空間を提供するとともに、健康で穏やかに笑顔あふれる生活を送ることができるよう、ご利用者一人ひとりに適したサービスを提供します。また、ご利用者の自己決定の意思を尊重し、施設職員が熱意を持って支援を行います。

(運営方針)

- ① ご利用者の人権を尊重し、自分らしく笑顔あふれる生活を送って頂くことを目指して支援を行います。
- ② ご利用者一人ひとりのことをよく知り、個々に合った支援を行います。
- ③ 自立した生活を継続することができるように介護、看護、機能訓練等の専門スタッフのチームケアによる充実したサービスの提供を行います。

(重点目標)

- ① 「ご利用者の人権と自己決定権を尊重し、自分らしく笑顔あふれる生活を送って頂けるように支援します。」については、毎日の生活にメリハリをつけることで、健康な状態で生活継続して頂けるよう、午前中は、懐かしの歌、リズム体操、ラジオ体操等を行う健康体操の時間、午後は、日替わりで脳の活性化等を目的とした様々なレクリエーションを行いました。ご利用者全員を対象とし、1階、2階の入居者に2階南フロアに集まって頂き、ご利用者同士の交流を図りながら、ご自身のADLの維持、向上に努めて頂きました。昨年度の後半より実施しております「健康つぼマッサージ」（春日鍼灸院、岩切先生）も引き続き好評で、つぼへの施術やつぼに関する情報を得る機会を皆さんが楽しみにされ、多くの方が参加しております。また、レクリエーションについては、毎月の計画がマンネリ化しないよう新しいレクリエーションを考え、実践するお楽しみの日を月1回行い、好評を得ています。目標としておりました、「選べるレクリエーション」の提供に関しては、実践できておらず、来年度の課題となっております。今後ご利用者の皆様に午前、午後のひと時を楽しみにして頂けるよう、また、心から楽しんで頂けるような時間の提供を考えていきます。ケアハウスでの生活が、入居される前と変わらない日常生活の継続となることを念頭に支援を行います。職員一同、ご利用者の皆様に自分らしく、また、心豊かに笑顔あふれる生活を送って頂く事が、ご利用者、ご家族の皆様からケアハウスに対して信頼と安心を感じて頂けるものと考えております。

② 「ご利用者の心身の状態観察・把握を行い、ご家族や医療機関と密な連携を図るとともに、早期発見に心がけ、できる限りケアハウスで安定した生活を送れるように努めます。」については、介護員と看護師の連携により、ご利用者個々の毎日の食事摂取量のチェックや検温、バイタル測定等を行うことで、ご利用者個々の状態把握を行いました。また、毎日のご利用者とのコミュニケーションを密にすることで、表情の変化等への気付きや体調不良の訴えを頂ける関係の構築にも努めました。様々な健康管理への注意により、細かな状態の変化を早期発見し、病院受診をご家族に依頼し、状態の悪化を生まない、また、入院が長期の入院に繋がらないよう支援の継続行いました。長期入院の方は9名居られましたが、30日以内に退院の見込みのない方には、病院での治療を重視して頂く為、退居となりました。一度、退居された方で退院後に、ケアハウスに再入居された方は4名居られます。稼働率は、4月は87.1%と悪かったですが、その後は、94.3%から100%を推移しており、平均稼働率は97.0%でした。また、インフルエンザ等の感染症予防対策に関しては、感染症に対する警報が出てからは、ご利用者、ご家族にご理解、ご協力を頂き、面会禁止の対応を行いました。定期の病院受診時等の外出時は、マスクの着用、帰苑時の手指消毒を行うことで予防を継続しました。職員については、「外から持ち込まない」との考えから、出勤時の検温及び業務中のマスク着用、日々の健康管理の徹底を行いました。結果、今年度もご利用者のインフルエンザの発症はありませんでした。ご利用者に関わる介護施設の職員として、より一層の体調管理、自己管理の重要性を認識してもらえよう職員だけでなく、職員の家族に体調不良者がいないか等の確認を行うことで、意識の向上を図り、結果、職員にもインフルエンザの発症者は見られませんでした。今後も「気付きのケア」の実践により、ご利用者の状態観察、健康管理をしっかり行い、早期発見に努めます。

③ 「地域交流を深め、地域と施設が共存していく事を目指します。」については、毎月2回の買い物行事での外出や月1回の習字クラブでボランティアの先生に来苑頂く等、外に出ること、来て頂くことによりケアハウスをもっと知って頂けるよう努めましたが、まだまだ地域資源を活用できていない状況です。「ご家族や地域の方々が参加できる行事を」との考えから、様々な行事を企画し、開催しましたが、敬老会等の一部の行事以外は、たくさんのご家族の参加を頂くことができませんでした。今後は、事前の行事案内や企画段階で開催日等より多くの参加者を募ることができる企画の立案についての取り組みが必要だと考えています。来年度も引き続き地域交流に向けて様々な取り組みを行い、開かれた施設として、ケアハウスが地域の方々に認知をされ、受け入れて頂けるようにします。地域交流に向けては、地域の公民館活動への参加や学校行事への参加により、地域資源を活用した入居者の皆様が生活をされてきた地元との繋がりが切れることのないようにと考えておりましたが、公民館活動（高齢者の集い）に関しては、参加された入居者からも、「楽しかった。次も行きたい。」等のご意見を頂いております。学校行事への参加や地域資源の活用に関しては、実践ができておらず、引き続きの課題となっております。

(2) ご利用者に対するサービス

● 食事

ご利用者の皆様の楽しみのひとつである「食べる事」については、食事やおやつへのご意見等が、ご利用者の求める食事やおやつの改善に反映することができるよう、管理栄養士及び職員全員でご意見、ご感想の収集に努めました。また、食事についての意見を聞く為の、意見箱を施設に設けており、毎月の給食会議の際に、収集したご利用者の声や検食を担当した職員の意見を厨房や管理栄養士に伝えることで、ご利用者の咀嚼状況及び嗜好に配慮をした食事を提供することができるように取り組みました。様々な改善等により、ご利用者からは、「此处のご飯は美味しい。」との感想を頂いております。引き続き、情報収集を行い、ご利用者の思いを知ること、食への楽しみを継続して感じて頂けるよう努めます。

● 入浴

週 2 回入浴を行い、体調不良等で入浴のできない方に対しては、清拭を行いました。身体状況に応じて、シャワーキャリーを活用し、普通浴槽での入浴が困難な方に対しては、機械浴槽（リフト浴）を使用する等の工夫により、快適な入浴の時間を過ごして頂けるよう支援を行いました。今年も他県ではありますが、介護施設での入浴時の死亡に関する事故も数件報道されており、入浴時の事故は、高齢者の死亡に繋がる危険性が高く、安全に安心して入浴して頂けるよう担当する職員が、馴染みの関係にありながらも緊張感を持ち対応を行うことで、入浴時の事故は発生しておりません。また、入浴時が一番入居者の皮膚状態の観察ができる機会なので、健康管理の情報収集の場として活用しております。

● 排泄の介助

トイレでの排泄＝自立という概念のもと、ケアハウスでの生活において排泄時はトイレを使用することを基本としてケアを継続しました。日課としている健康体操への参加や状態に応じた歩行訓練等を行うことで、体を動かし、腸内の活動を良くするような取り組みで、残存能力を維持することにより、トイレやポータブルトイレを使用しての排泄を継続して行うことができるように支援を行いました。一人でトイレやポータブルトイレを使用することが難しいご利用者については、職員が介助を行い、気持ち良く排泄をすることができるようなケアを継続しております。

● 健康管理

看護職員は常に入居者の健康状況に注意し、健康管理に努めました。また、緊急時には、主治医あるいは協力医療機関等と連携を図り早期対応に努めました。

また、介護職員も、日々の入居者との関わりの中で、いつもと違う気付きを大切にし、看護職員との情報共有により、異常の早期発見に努めてきました。長期入院となった方は、一度退居し、しっかりと治療をして頂き病状が改善、安定し、退院された後には、再入居されケアハウスでの生活を送って頂いています。

- 機能訓練

入居者一人一人の身体状況を把握し、機能訓練指導員により個別の機能訓練計画を立て、計画に基づいて個々に合った訓練を実施しました。内容としては、日常生活を送るのに必要な機能の回復又はその減退を防止するための機能訓練を実施しました。また、毎日の健康体操、歩行訓練、車椅子を使用している方の自走訓練、月に何度かの平行棒や階段を使用しての歩行訓練を通して下肢筋力の維持、低下の予防に努めてきました。また、プリント問題等(計算・漢字)をすることで、脳の活性化を図っています。毎日の生活がリハビリと考え、自分の事は自分で出来る大切さを伝えながら、前向きに取り組んで頂けるように声かけを行っています。

- 相談および援助

入居者およびそのご家族からのいかなる相談についても誠意をもって応じ、可能な限り必要な援助を行うよう努めました。苦情については、2件でした。今後もどんなケースでも早期対応を行い、日頃からご家族との連絡を密にし、連絡に関しても、担当者を相談員とケアマネに限定し、ご家族が誰に相談すれば良いかを明確にすることで、信頼関係の構築に努めました。また、面会に来られたご家族には、お声かけし、話しやすい環境づくりに努めました。

- レクリエーション

施設の年間計画に沿ったレクリエーション行事を企画し、実施しました。観桜会、ドライブ、誕生会、カラオケ、敬老会、クリスマス会、買い物、絵手紙、習字等、入居者に楽しんで頂けるよう工夫をし、入居者に日々の生活に楽しみを感じながら生活して頂くことをテーマとして取り組みました。また、月ごとにレクリエーション予定表を作成し、日替わりのレクリエーションを行い、手足を使用したゲームや頭の体操としてプリント問題等、脳の活性化を目的とした様々な取り組みを行いました。おやつイベントでは、当初、二か月に一回予定していましたが、好評につき、毎月行っています。「選ぶ」「見る」「作る」「食べる」という、様々な楽しみを味わって頂いています。週に1回の「健康つぼマッサージ」では、春日鍼灸院の岩切先生から、自分でも出来る施術を学ぶなど、日常生活にも役立てることが出来ています。

- 防火・防災対策

「ケアハウス鶴翠苑・グループホーム鶴翠 消防計画」にのっとり、年2回夜間を想定した避難訓練を、ご利用者の方も参加して実施しました。避難訓練後は、消防職員指導のもと、初期消火訓練や心肺蘇生の訓練など防災に関する知識を深める取り組みを行いました。今後も発生が予想されている東南海地震等の災害への対応をしっかりと行うことができるよう、また、安全に入居者の皆様を避難誘導できるよう、日頃から防火、防災対策への強い意識を持ちケアの継続を行います。愛媛県を襲った豪雨災害では、地域の方から「一人でいるのが怖かった…」との声が聞かれました。地域に役立つ施設の役割をしっかりと考えていきます。

- 職員研修

毎月、内部研修を行い、職員全員で介護に関する知識や技術の向上を目指し、取り組んできました。その研修により、入居者に対してより良い支援を行い、ケアハウスでの生活の継続を望んで頂けるような職員の育成に努めました。また、外部研修に参加することで、他の法人の職員と一緒に学び、情報交換を行うことで、今以上に知識や技術を向上することを目標として積極的に参加を促し、職員の質の向上を目指す取り組みを行いました。今後も内部、外部研修を活用し、自ら考え、行動できる職員の育成に努めます。

- 職員

離職者が出ない職場環境への取り組みについて、管理する立場の職員が、まず、過去の職員対応について顧みるとともに、職員の指導等の問題点を分析し、職員の話を聴くことに力を入れて取り組みました。毎月の職員会議で実施した内部研修の報告書に各部門の管理職の一言を添え、面談を行い、職員の思いや目標を一緒に考え、事業所として進んでいる方向について、伝えることを継続しました。その結果、ご利用者からも職員がまとまってきたとの評価を頂くことができ、事務所、看護、介護の3部門それぞれが協力することで、今まで以上に強固な組織作りを行うことができるよう頑張る糧となっております。これからも各部門の責任者が、情報共有を行い、信頼される事業所の運営について考え、取り組んで参ります。

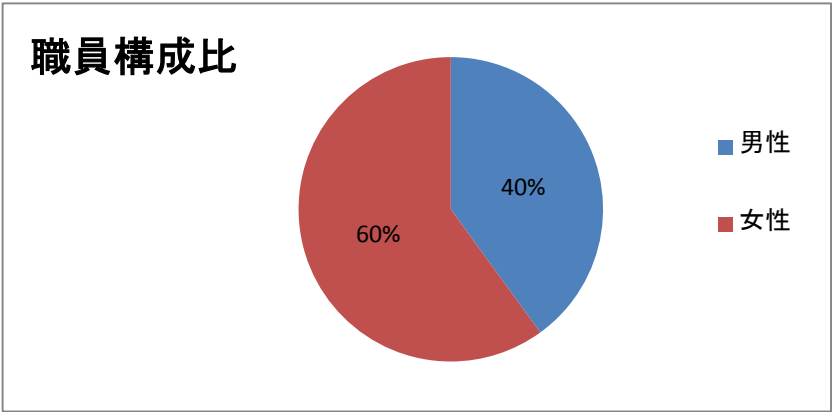


1. 事業所

概要

事業所名	ケアハウス鶴翠苑			
事業所種別	(介護予防)特定施設入居者生活介護			
事業所住所	西条市大野248番地1			
管理者職名	施設長 宮田 晴司			
職員数	男性	女性	総数	
	8	12	20	

(平成31年3月31日現在)

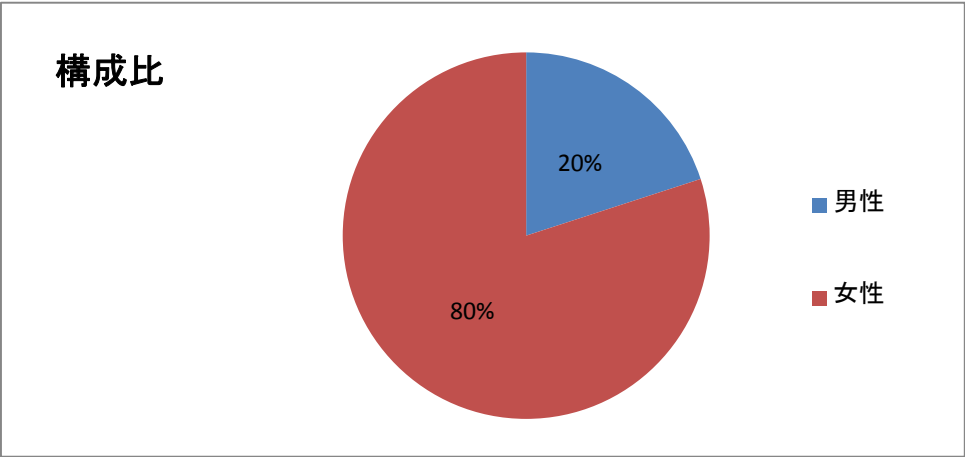


笑顔で
愛情いっぱい
支援させて
いただきます



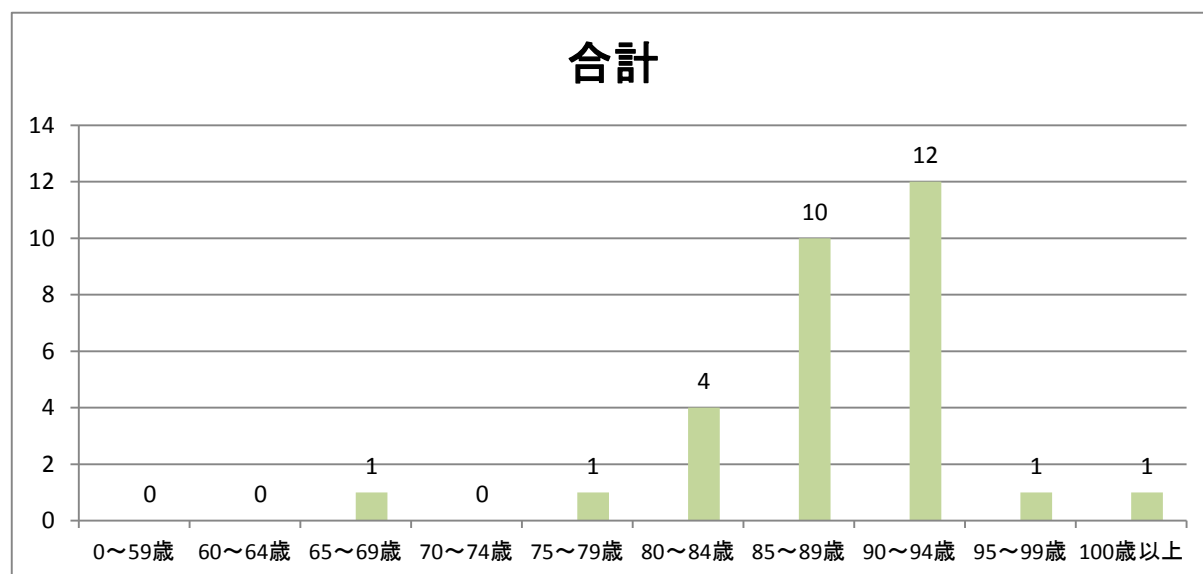
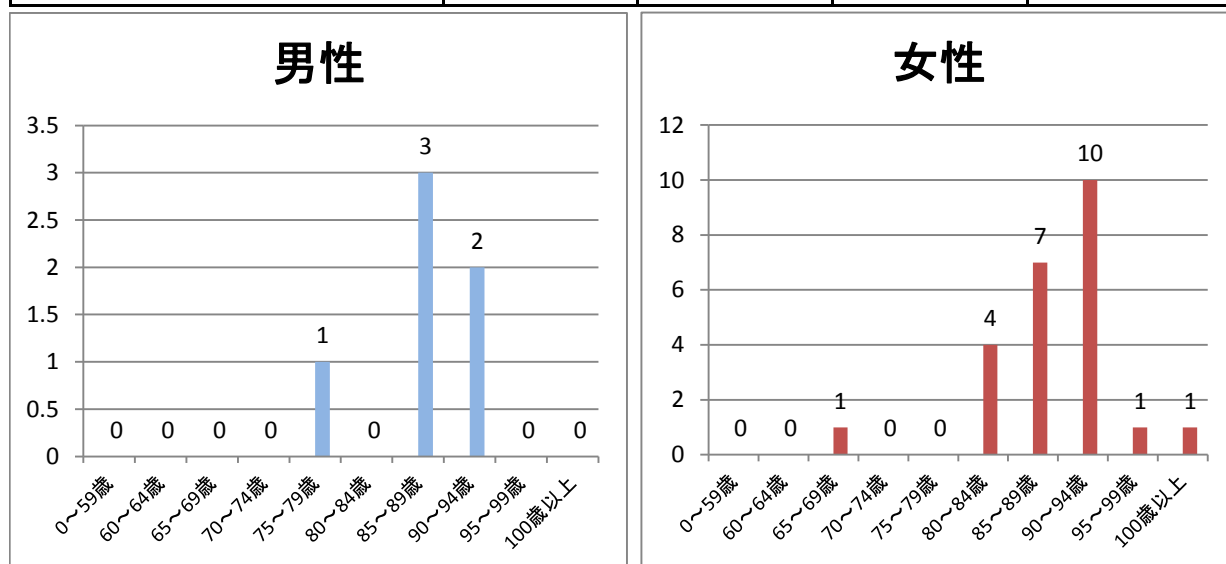
2. 定員及び現在人員(平成31年3月31日現在)

定員(名)	現在人員(名)	性別	
		男性	女性
30	30	6	24



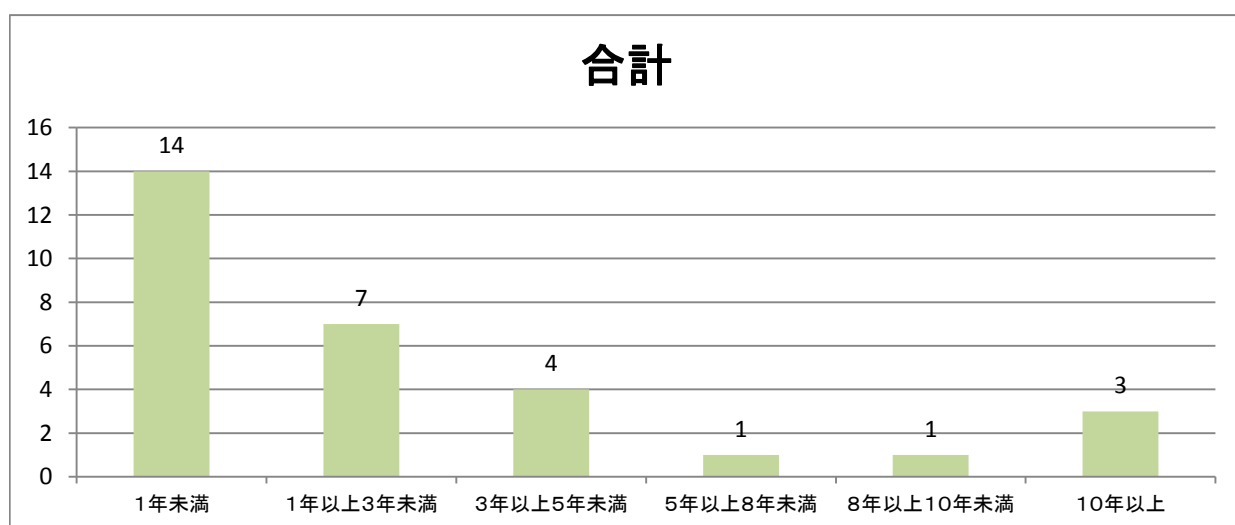
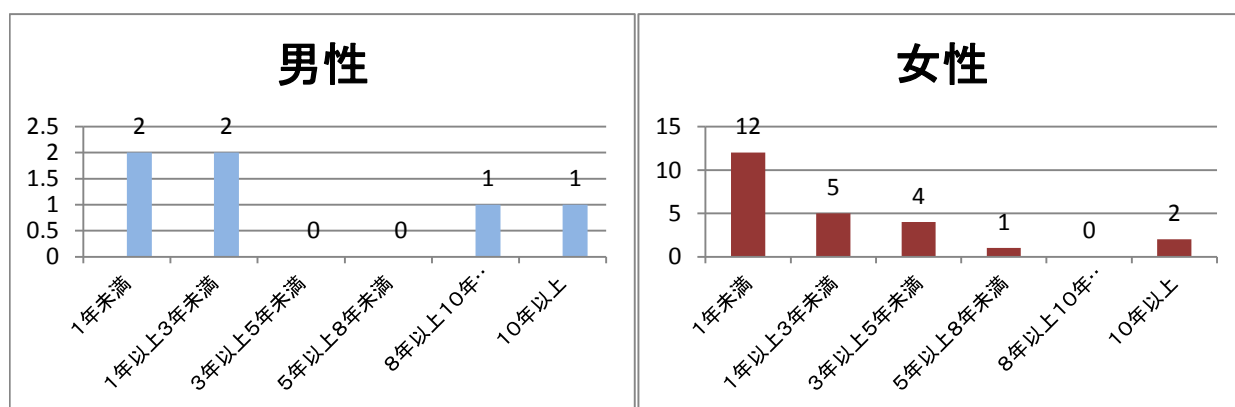
3. 年齢別人員

	男性	女性	合計人数と構成比	
			人数(名)	構成比(%)
0～59歳	0	0	0	0%
60～64歳	0	0	0	0%
65～69歳	0	1	1	3%
70～74歳	0	0	0	0%
75～79歳	1	0	1	3.33%
80～84歳	0	4	4	13.33%
85～89歳	3	7	10	33.33%
90～94歳	2	10	12	40.00%
95～99歳	0	1	1	3.33%
100歳以上	0	1	1	3%
合計	6	24	30	100%
	最高年齢	最低年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	93	79	87.56	87.95
女性	100	67	88.34	



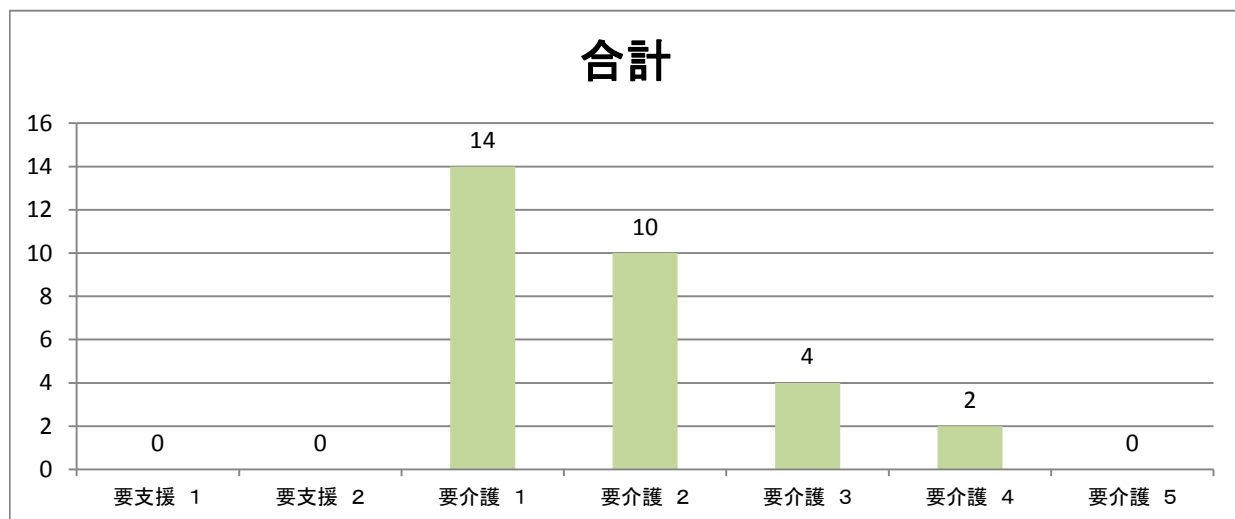
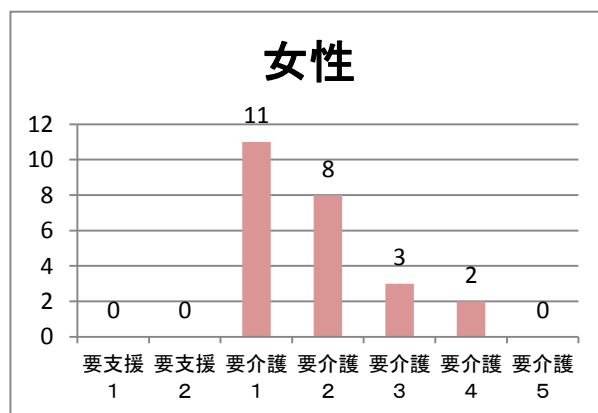
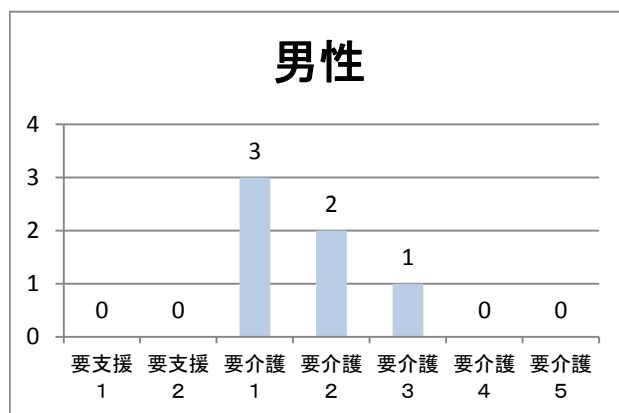
4. 入居期間別人員

	男性(名)	女性(名)	合計(名)	構成比(%)
1年未満	2	12	14	46.7
1年以上3年未満	2	5	7	23.3
3年以上5年未満	0	4	4	13.3
5年以上8年未満	0	1	1	3.3
8年以上10年未満	1	0	1	3
10年以上	1	2	3	10
合計	6	24	30	100
平均入居期間	4年3ヶ月	2年8ヶ月	全体	3年5ヶ月



5. 平均介護度別人員

	男性(名)	女性(名)	合計	
			人数(名)	構成比(%)
要支援 1	0	0	0	0%
要支援 2	0	0	0	0%
要介護 1	3	11	14	46.67%
要介護 2	2	8	10	33.33%
要介護 3	1	3	4	13.33%
要介護 4	0	2	2	6.67%
要介護 5	0	0	0	0%
合計	6	24	30	100%
平均介護度	1.67	1.96	1.81	



6. 面会状況(平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日迄の1年間)

総数	922人
1か月平均	76.8人
最高(1人あたり)	121人
最低(1人あたり)	1人
年間1人平均	23.6人
1か月1人平均	2人

7. 研修実施状況

【内部研修】

実施月	研修内容	研修講師	出席者数(名)
4月	接遇について	介護職員	15
5月	法令遵守と行動規範について	介護職員	18
6月	食中毒の予防と対策について	看護職員	18
7月	事故防止対策について	介護職員	17
8月	利用者とのコミュニケーションについて	介護職員	16
9月	夜間の緊急時の対応について	看護職員	16
10月	介護記録について	介護職員	16
11月	感染症の予防と対策について	看護職員	17
12月	外国人技能実習制度について ・ 身体拘束、高齢者虐待について	介護職員	16
1月	身体拘束・高齢者虐待について ・ 摂食嚥下について	介護職員・管理栄養士	18
2月	事故報告・ヒヤリハット報告書について	介護職員	16
3月	身体拘束・高齢者虐待について ・ 機能訓練について	介護職員・機能訓練指導員	17

【外部研修】

実施月	研修種類	研修内容	出席者職種
6月	講義・演習	アンガーマネジメントの基本を学ぶ	介護員
9月	講義・演習	生活リハビリ研修会	機能訓練指導員
10月	講義・演習	ポジショニング研修会	介護員
12月	講義	外国人技能実習制度について	介護員・相談員
2月	講義・演習	介護従事者による高齢者虐待防止研修	介護員

8. 食事

【栄養所要量】

区分	1人1日当たり給与栄養量	1人1日当たり荷重平均所要量
エネルギー	1610kcal	1579kcal
たんぱく質	51.4g	52.2g
脂質	42.1g	38.5g
カルシウム	686mg	647mg
鉄	8.5mg	6.1mg
ビタミンA	655μg	467μg
ビタミンB1	1.18mg	0.84mg
ビタミンB2	1.04mg	0.94mg
ビタミンC	95mg	98mg

【献立例】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
ちらし寿司	玉子そば	マーボー丼	ツナオムレツ	冷しわかめとろろそば	さば和風トマト煮込み
ハヤシライス	天津飯	チキンライス	とろほっけ塩焼き	メンチカツ	さんま梅じそ風味
赤飯	アジの黄金焼き	ワカメとろろうどん	冷やし月見うどん	豚ロース甘酢あん	とろあじ塩焼き
エビフライ	お好み焼き	栗かぼちゃコロケ	アジフライ	牛丼	ねぎ塩カルビ
じゃこ天にゆう麺	あさりご飯	あんかけ玉子焼き	若鶏のピカタ	トンカツ	焼肉
煮込みロールキャベツ	醤油ラーメン	クリーミーベーコンポテト	ぶりの照り焼き	かき氷	キャベツロール

10月	11月	12月	1月	2月	3月
たら本粕焼	中華丼	さわらハーブ衣焼き	ちらし寿司	節分ご飯	筍ご飯
五目おこわ	きのこあんかけバーグ	茸のブラウンシチュー	おせち料理	ニシン照り煮	山菜そば
スペイン風バイクドエッグ	チキンのトマト煮込み	肉じゃが	年明けうどん	豚しゃぶ	クリームソースオムライス
さつま芋レモン煮	チキンのBBQソース	しらすわかめご飯	クリームソースバーグ	タルカツ丼	ユダ豚と温野菜の香味和え
いわし胡麻味噌煮	あったかおそば	年越しそば	パンプキンシチュー	のっぺい風煮	ガリバタチキン
豚生姜焼き	さつま芋餡のどら焼き	クリスマスおやつバイキング	イチゴ餡巻き	チョコフォンデュ	ひし餅風プリン

9. 行事・クラブ活動及びボランティア受入れ実施状況表

【行事・クラブ活動】

実施月	指導援助者	内容	参加者数(名)
4月	介護職員	買い物、観桜会、誕生会、カラオケ、おやつイベント、習字クラブ、絵手紙クラブ	合計95名
5月	介護職員	買い物、喫茶ドライブ、誕生会、カラオケ、おやつイベント、習字クラブ、絵手紙クラブ	合計104名
6月	介護職員	買い物、誕生会、カラオケ、ドライブ、おやつイベント、習字クラブ、絵手紙クラブ	合計112名
7月	介護職員	買い物、ドライブ、カラオケ、盆踊り大会、誕生会、食事イベント、習字クラブ、絵手紙クラブ	合計143名
8月	介護職員	買い物、誕生会、カラオケ大会、おやつイベント、習字クラブ、絵手紙クラブ	合計108名
9月	介護職員	買い物、誕生会、敬老会、ドライブ、カラオケ、習字クラブ、絵手紙クラブ	合計127名
10月	介護職員	買い物・誕生会、カラオケ、運動会、ドライブ、おやつイベント、習字クラブ、絵手紙クラブ	合計156名
11月	介護職員	買い物、誕生会、ドライブ、カラオケ、おやつイベント、習字クラブ、絵手紙クラブ	合計120名
12月	介護職員	買い物、誕生会、クリスマス会、ドライブ、カラオケ、おやつイベント、習字クラブ、絵手紙クラブ	合計148名
1月	介護職員	新年会、誕生会、カラオケ、買い物、成人式、おやつイベント、映画鑑賞、習字クラブ、絵手紙クラブ	合計171名
2月	介護職員	節分、誕生会、カラオケ、おやつイベント、作品作り、習字クラブ、絵手紙クラブ	合計163名
3月	介護職員	ひな祭り、誕生会、カラオケ、観桜会、おやつイベント、習字クラブ、絵手紙クラブ、	合計152名

【地域交流・ボランティア受入れ状況】

実施月	団体名	内容	参加者数(名)
毎月	習字	外部講師による習字の実施	毎月4～6名
毎月	健康つぼマッサージ	外部鍼灸師による施工	ご利用者30名
毎月(第4火曜日)	高齢者の集い	三芳公民館で地域住民との交流を図る。	毎月1～4名
5月	願連寺銭太鼓サークル	皆様が良く知っている曲の演奏	ご利用者29名
7月	婦人部	盆踊り練習	講師1名 婦人会10名～17名 ご利用者30名
8月	盆踊り大会	盆踊り見学、参加	ご利用者24名 ご家族36名
9月	オレンジペコ	皆様が良く知っている曲を合唱	ご利用者29名
9月	敬老会(秋祭り)	秋祭り、縁日の催しを体験して頂く。	ご利用者29名 ご家族36名 地域の方30名 他施設18名
10月	獅子舞見学(上市獅子舞保存会)	上市獅子舞保存会の獅子舞を見学	大人獅子舞27名 子供獅子舞27名
11月	大正琴	皆様が良く知っている曲を奏でる。	ご利用者28名
1月	初詣	宮内神社へ初詣	ご利用者21名
3月	お花見	お弁当を持って地域の公園で観桜。	ご利用者29名

【苦情状況】

日付	法人との関係	内容
6月29日	ご家族	下剤の服用(排便確認)、荷物管理に関わる苦情 対応策として ①ご家族から意見を伺う。 解決策として ①短期利用の受け入れマニュアルをつくる。 ②入所時、退所時の荷物のチェックを行う。 ②排便の確認を行い、看護師との連携を図る。 結果、家族様に謝罪し、今後の対応についてご理解頂き、了承される。
12月16日	ご家族	居室内、電気コードの設置に関わる(ベットで踏みつけていた)苦情 対応策として ①ご家族からの話を聞く。 施設の電気コードを使用し対応する。 解決策として ①外部の清掃作業が行われた後に起きた苦情であり、清掃を外部に依頼する場合、事前に受け入れ方法についてのルールを決めておく。 ②清掃終了後、訪室し確認を行う。 結果、家族様に謝罪し、了承される。

